



I-OWA マンスリー・セミナー講演より こう教えればわかる株式会社の仕組みと証券市場

講演：岡本 和久

レポーター：赤堀 薫里

投資に対するイメージの悪さは、株式や株式会社というものの本質が理解されていないことにある。幼少時代からのお金に対する知識が与えられていない。子供の頃から自分で稼ぐという意識もあまりない。自分で稼ぎ、起業する発想がほとんどの人になく、安泰な会社に入って生涯安泰に暮らしたいと思う人が大半である。株式に投資することは、経済活動に資金を投じること。株式や株式会社、証券市場の正しい知識を持つことは日本経済を活性化する上でも重要である。

今回は、2015年8月の「起業家になろう」という講演の続編です。起業家とは、新しく事業を起こす人、そのビジネスを経営しビジネスのリスクを取る人です。幼少時代から企業家としてのプランを考えることは、自然と投資の正しい知識が身に付くことにつながります。前回、登場したしずかちゃんとヨシツネ君、今回はすっかり大人になった二人が主人公です。

しっかりもののしずかちゃんは、高校を卒業してからバイトで稼いだお金の一部を世界の主要な株式会社にまとめて投資するインデックス・ファンドで積立投資を始めました。就職後はプロを目指し、しっかり働いています。投資信託の積立でも続け若くしてそれなりの資産を形成しています。

ヨシツネ君もしっかり働き、300万円貯め、長年の夢だったパン屋さんを起業しました。「ヨシツネ・ベーカリー」は小さなお店ですが、友人がSNSを取り上げてくれたこともあり店は大繁盛。ヨシツネ君は、資金を倍にしてもっと多くの人に自分の作ったパンを食べてもらいたいと、事業拡大を検討します。夢を叶える為には、お金が必要です。既に自己資金を使いきった為、しずかちゃんに資金援助の相談に行きます。ちょうど、国債の300万円が償還されるタイミングだったしずかちゃん

ヨシツネ君、しずかちゃんに資金援助を依頼

無理にとは言わないけど...

あら、ヨシツネ君、久しぶりねえ。パン屋さん、ずいぶん、成功しているらしいわね！

実はね、ビジネスを拡大したいんだ。それで300万円必要なんだけどなんとかならないかなあ...

ちょうど、国債300万円が償還になって、その運用先を考えていたの。検討してみるわ。ほかならめヨシツネ君の頼みだから...

そうしてもらえるとありがたいなあ...

幼なじみだし、ヨシツネ君がまじめなのは良く知ってるからね。

© I-O Wealth Advisors, Inc. Kaz Okamoto, 2013. All rights reserved.



長期投資仲間通信「インベストラ이프」

は、昔から人柄をよく知るヨシツネ君の頼みを聞き入れます。

しずかちゃんの選択肢は二つ。一つ目は貸すという方法、つまり、債券投資とか融資です。300 万円を貸してあげる代わりに、ヨシツネ君は毎年 5%の金利を払い、5 年後にしずかちゃんに全額返済する約束をする方法です。2 つ目は株式投資。ヨシツネ・ベーカリーにしずかちゃんが 300 万円出資します。お金は返さなくてもいい代わりに今後の利益の半分はしずかちゃんがもらうという条件です。

お金を貸した場合、業績が悪くても倒産しない限り一定の金利がもらえ、期日には貸し付けた元本を返済してもらえます。しかし、出資をして株式を持った場合、業績が良ければ分け前の配当金は非常に大きくなりますが、業績が悪ければ分け前も減ってしまう。投資額は返済されないの、最悪倒産してしまえば出したお金はパアになってしまいます。

株式は、業績が良ければ債券よりも高い収益を得る可能性が高いのです。でも、業績が悪ければ債券や貸付の方が安全。これが基本的な株式と債券のリスクの違いです。株式と債券のリスクは、株価や債券価格のことだと思いがちですが、実際はビジネスに関係したリスクが根っこにあるのです。

結局、しずかちゃんは出資をすることにします。つまり、株主になり会社のオーナーになったのです。ヨシツネ・ベーカリーの毎年の利益からヨシツネ君の経営に対する報酬を引いた残りを、株主であるヨシツネ君としずかちゃんが半分ずつ分ける。受け取るお金が配当金です。

その後、講演では、ヨシツネ・ベーカリーに起こる色々な出来事が紹介されます。利益の一部を会社に残す内部留保について、また、ヨシツネ・ベーカリーが値上げをした場合、株主や債券保有者はどうなるか。その購買力を維持する為の債券と株式の関係や分散投資の重要性についての説明。ROE の意味と重要性についての解説などをお話いただきました。

その後、ヨシツネ・ベーカリーは、ヨシツネ・カフェを併設する上で必要となる資金調達を、債券発行か株式発行か迷った上、株式を取引所に上場することで調達します。それに伴い、株式投資で大切なことや、一番簡単な資産運用のポイントと共に、絶対に忘れてはならない心得をわかりやすく解説していただきました。最後に、株主として果たす責任や経営者としてあるべき姿についての説明と、何より株主と経営者の間で企業ビジョンを共有することが重要であるというお話がありました。